

足場板

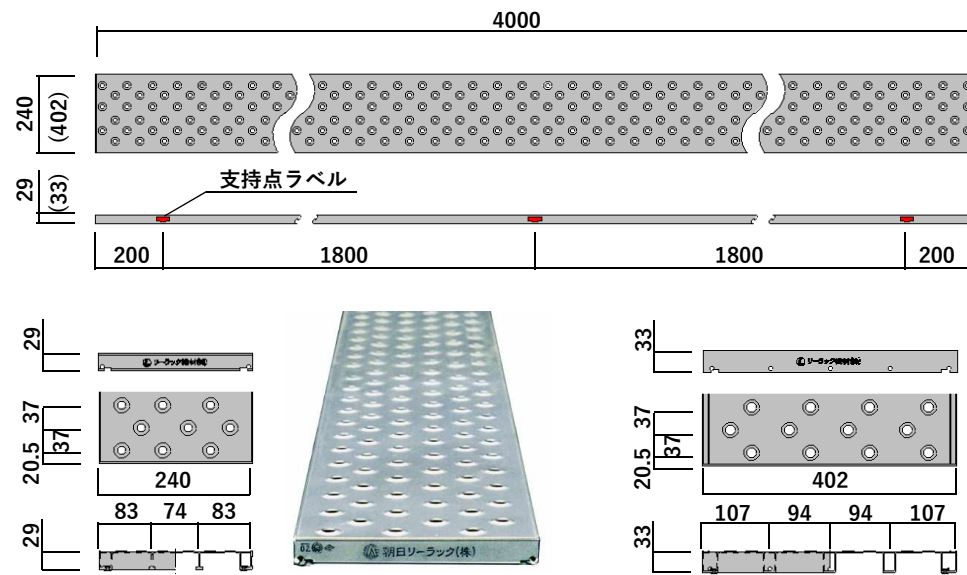
アルミ足場板

最高の防滑性

表面に円周フランジ加工を施してありますので、水・油・砂等の付着や、寒冷地の凍結に対しても、防滑性が有効に働きます。
また、足場板裏面には合成樹脂を取り付けてありますので、足場板が滑りません。

軽くて強い

重量は合板足場板の約半分ですので、運搬架設の取り扱いが容易です。合板足場板よりも許容荷重が大きく、たわみも少ないので安心して作業ができます。特に経年劣化による強度の低下が少ないことも大きな特徴です。



品倍	寸法 (mm)	許容荷重 (kN)	たわみ (cm)	安全率	重量 (kg)
FB-1224	29 × 240 × 1200	2.35			3.0
FB-2024	29 × 240 × 2000	1.18	2.3	3.0	5.1
FB-3024	29 × 240 × 3000	1.18	2.3	3.0	7.6
FB-4024	29 × 240 × 4000	1.18	2.3	3.0	10.1
FB-1240	33 × 402 × 1200	2.35			4.8
FB-2040	33 × 402 × 2000	2.16	1.8	2.5以上	8.0
FB-3040	33 × 402 × 3000	2.16	1.8	2.5以上	12.0
FB-4040	33 × 402 × 4000	2.16	1.8	2.5以上	16.0

◆取扱い上の注意

- 吊上げ吊下ろし作業：必ず2点吊り以上とし、角のワイヤーの当たるところには当て物を添えて下さい。
- 運搬：トラック運送のときは25枚重ねで2段積み以下とし、ワイヤーの当たるところには必ず当て物を添えて下さい。
- 仮置き：現場に仮置きするときには、凸部の上に置かないように、必ず等間隔に敷パタなどを入れて下さい。
また、荷崩れをおこさないためにも使用時まで梱包バンドは切らないで下さい。
- 設置方法：番線またはゴムバンドで3点以上固定し、支持間隔は1.8m以下として下さい。支点からの突出部長さは10cm以上20cm以下にして下さい。また、2m以上の高所作業床として使用する場合は、2枚並べて使用して下さい。(240幅の場合、400幅は1枚で可)
- 許容荷重(静的)：荷揚げ構台などの支持間隔は、右表の許容荷重を考慮して下さい。許容荷重を超えた荷重をのせないで下さい。
- 傾斜：傾斜させて使用する場合(15°以上)は栈木をつけるなど、滑り止めを設けて下さい。
- 道板・敷板：重量物の道板や、足場ベースの敷板として使用しないで下さい。

支持間隔	許容荷重 (kN)
0.9 m	2.35
1.2 m	1.72
1.5 m	1.37
1.8 m	1.18

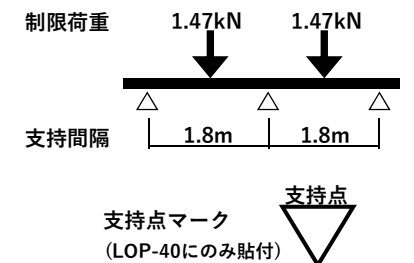
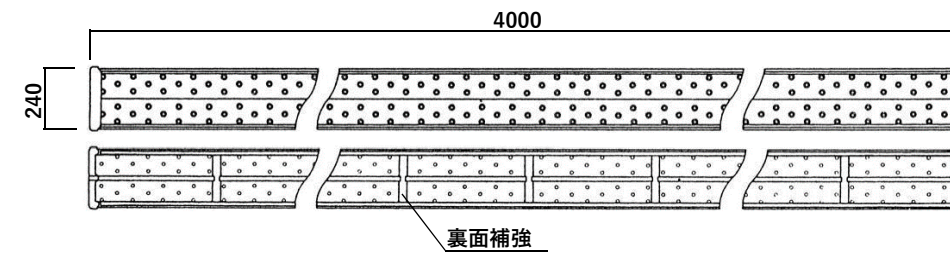
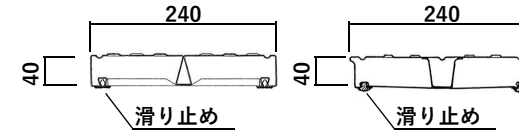
鋼製足場板

最高の防滑性

踏み面はバーリング加工により滑り止め加工されていますので、土砂などが付着しても防滑効果があります。また、裏面には特殊な滑り止めライニングが施されていますので、鋼管などの足場にかけ渡しても滑り止め効果に優れ安全性が確保されます。

軽くて強い

軽量化されていますので取り扱いやすく、作業効率が向上します。

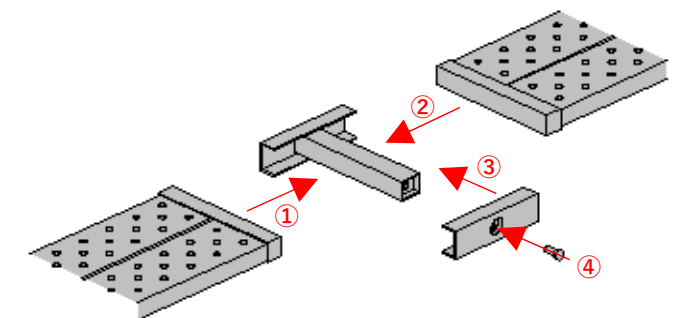
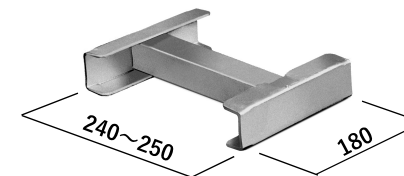


品倍	寸法 (mm)	許容荷重 (kN)	たわみ (cm)	安全率	重量 (kg)
LPO-12	40 × 240 × 1200	1.47		2.5 以上	5.0
LPO-20	40 × 240 × 2000	1.47	9.0 (1.47 kN時)	2.5 以上	8.0
LPO-30	40 × 240 × 3000	1.47	9.0 (1.47 kN時)	2.5 以上	11.5
LPO-40	40 × 240 × 4000	1.47	9.0 (1.47 kN時)	2.5 以上	15.0

プランキージョイント

プランキージョイント 鋼製足場板用のジョイント金具。

- (本体) TK-251 1.02 kg
- (側板) TK-252 0.48 kg
- (ボルト W1/2 × 45) TK-01



- ①②: プランキージョイント本体へ鋼製足場板を突き合わせる。
- ③: プランキージョイント側板をかぶせる。
- ④: ボルトを締め込み側板で鋼製足場板を締め付ける。足場板を並列に敷き並べても隙間が生じません。

安全ゴムバンド TK-800W

- (販売品)
- 足場板の押えバンド

